

ミナマグロ(インド)入荷増加

ニュージーランド(NZ)から生鮮ミナマグロの輸入が増加して、各地の魚市場で取引が活発化しています。供給が減った国産マグロなどの代替として、円安の逆風下でも商社や卸が集荷に力を入れているため。市場や飲食店関係者らの支持を集め、存在感を増しています。東京・豊洲市場では今年の入荷が始まった2月中旬以降、4月中旬まで約1400尾が入荷。前年同時期のほぼ2倍で、過去10年間で最も多いそうです。円安の影響を吹き飛ばす勢いの入荷が続いています。増加の要因は、**昨年の台風被害で出荷が減った国産養殖クロマグロや、不漁が続くメバチマグロの代わりとして**「寿司店や料理店からの引き合いが高まっているため」と豊洲の仲卸業者。こうしたニーズが後押しして、今年は、これまで優勢だった米国から「日本が買い付けシェアを奪い返している」(大手水産会社) そうです。



【ミナマグロは鮮やかな赤身と脂身のコントラストがはっきりしている。】

入荷状況

5月
★タイ
カレイ類
★毛ガニ
サワラ(サゴシ)
サヨリ
★トリ貝
6月
スズキ
トビウオ
★岩カキ
メジ
フクラギ(ブリの幼魚)
★アカイカ
★スルメ



タイ

地物をはじめ、九州方面からも潤沢に入荷見込みです。子を持っているので身が痩せています。

毛ガニ

各サイズ順調に入荷中です。昨年より価格は抑えめで推移しています。

岩カキ(夏カキ)

入荷し始めています。8月末までが漁期です。3L(500g)サイズです。(能登産)

アカイカ、スルメイカ

スルメイカの本格的な入荷はまだ先のようです。赤イカも少なく、もう少し時期がずれそうです。

ハモ

愛媛産、関西圏からの入荷です。韓国産は脂ののりが良いとされ高値。徐々に入荷しています。

トリ貝

入荷が少なく高値です。

甘エビ

脱皮の時期を過ぎようやくいいものが入ってきます。

詳しくは営業担当まで
お問い合わせください